

三次藩札発行や季節的な要因、年末特需もあってか

業況・売上・採算とも大幅改善

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の136社。2位が「人材養成・確保」の55社。「ニーズの変化への対応」が51社で3位。
- ★ 「11月に総額3億3千万円分の三次藩札を発行したこと（2つ回答）」について、「地元での購買につながるのいいことだ」139社（36.2%）、「毎年継続して発行すると良い」72社（18.8%）、「景気刺激策としては良い」69社（18%）、「速やかな経済波及効果があり大変良い」17社（4.4%）を合わせ77.4%が評価。
- ★ 「今後の社会保障の給付とバランス」について、最も多いのが「給付水準を保つために、ある程度の負担増はやむを得ない」の99社（44.8%）。続いて「給付水準をある程度下げても、従来どおりの負担とすべき」の43社（19.5%）。

平成28年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成29年1月に実施した第107回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が107回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は231社（小売業70社、卸売業28社、製造業32社、建設業52社、運輸・交通業17社、観光・サービス業32社）で回収率は46.2%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲8.7と、3ヶ月前の前回調査から12.3ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.7%、「やや好転」が19.7%で、逆に「やや悪化」が26.2%、「かなり悪化」が3.9%だった。売上DIも▲21.4から16.1ポイント改善の▲5.3。採算DIも16.2ポイント改善し▲8.7となり、DI値は軒並み10ポイント以上改善した。3年連続で発行している三次藩札や季節的な要因、年末特需もあってか、業況・売上・採算DI値がすべてマイナス一桁になるのは、平成6年9月期以来22年ぶりのこと。原材料（商品）仕入価格は17.4から23.2と若干上昇。

今回事業所に対し、「11月に総額3億3千万円分の三次藩札を発行した」ことについて尋ねたところ、「地元での購買につながるのいいことだ」（36.2%）、「毎年継続して発行すると良い」（18.8%）、「景気刺激策としては良い」（18%）、「速やかな経済波及効果があり大変良い」（4.4%）を合わせ約8割（77.4%）が三次藩札発行事業を評価。否定的な見解は、「経済波及効果はあまりない」（8.6%）、「商工業者にとってあまりいい事業とはいえない」（4.7%）を合わせ、1割強（13.3%）。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

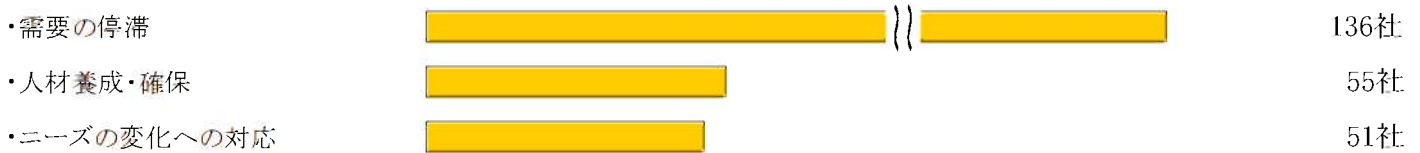
業況は、全業種合計で今期▲8.7。業種別では、建設業を除く5業種で改善。特に、製造業（▲2.9→6.3）、と運輸・交通業（▲12.5→5.9）はプラスの値を示した。

売上は、全業種合計で今期▲5.3。業種別では、改善の幅に違いはあるもののすべての業種で改善。増加したと回答した54社のうち、最も多かったのが「季節的な増加」で31社。続いて「企業（経営）努力」の14社。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期23.2。原油価格上昇の影響もあってか、前期（17.4）に比べ、若干上昇傾向。

採算は、全業種合計で今期▲8.7。業種別では、売上同様すべての業種で改善。改善した44社のうち、37社が「売上の増加」と回答。プラスの値はなかったが、製造業（▲2.9→0.0）、建設業（▲9.8→0.0）、運輸・交通業（▲9.8→0.0）とプラスマイナスゼロ。

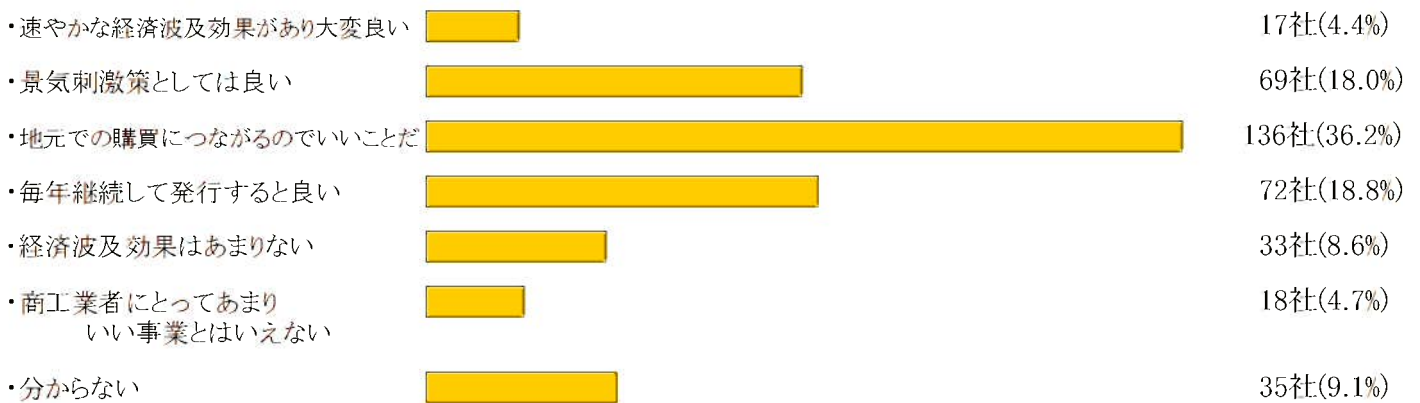
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



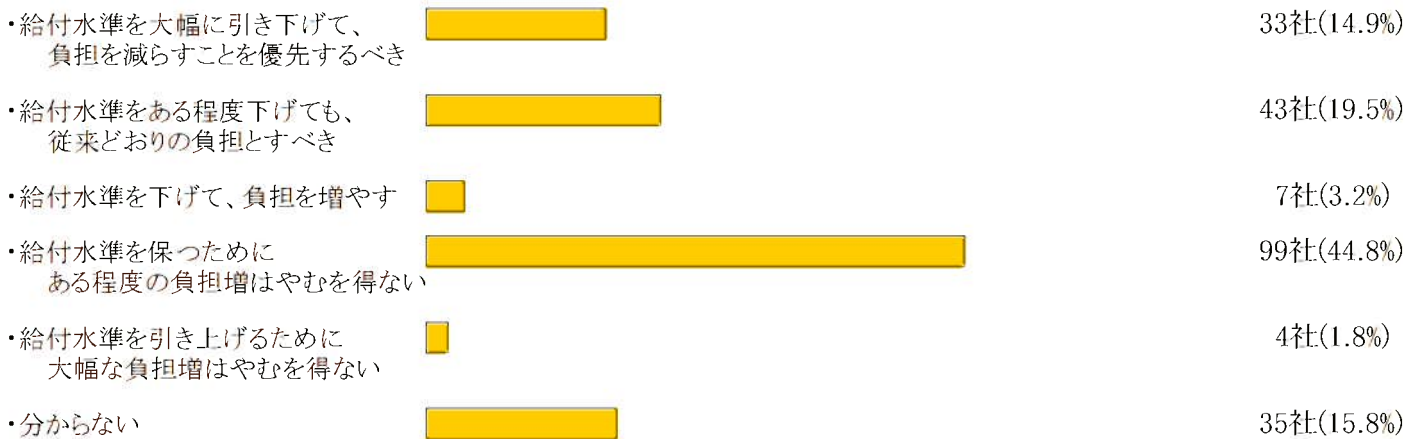
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【三次市の補助金を活用して、引き続き当商工会議所はプレミアム付商品券「三次藩札」を11月に総額3億3千万円分(3万冊)発行しましたが、事業者の立場としてお答えください(2つ回答)】



【今後の社会保障(年金、医療、介護等)の給付と負担のバランスについてどう思われますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 8.7	▲ 31.0
小売業	▲ 24.3	▲ 32.9
卸売業	▲ 3.6	▲ 42.9
製造業	6.3	▲ 40.6
建設業	▲ 9.8	▲ 13.7
運輸・交通	5.9	▲ 5.9
サービス業	0.0	▲ 48.4

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 5.3	▲ 29.4
小売業	▲ 20.6	▲ 21.7
卸売業	▲ 7.1	▲ 53.6
製造業	3.1	▲ 46.9
建設業	▲ 1.9	▲ 15.7
運輸・交通	12.5	▲ 5.9
サービス業	6.5	▲ 41.9

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

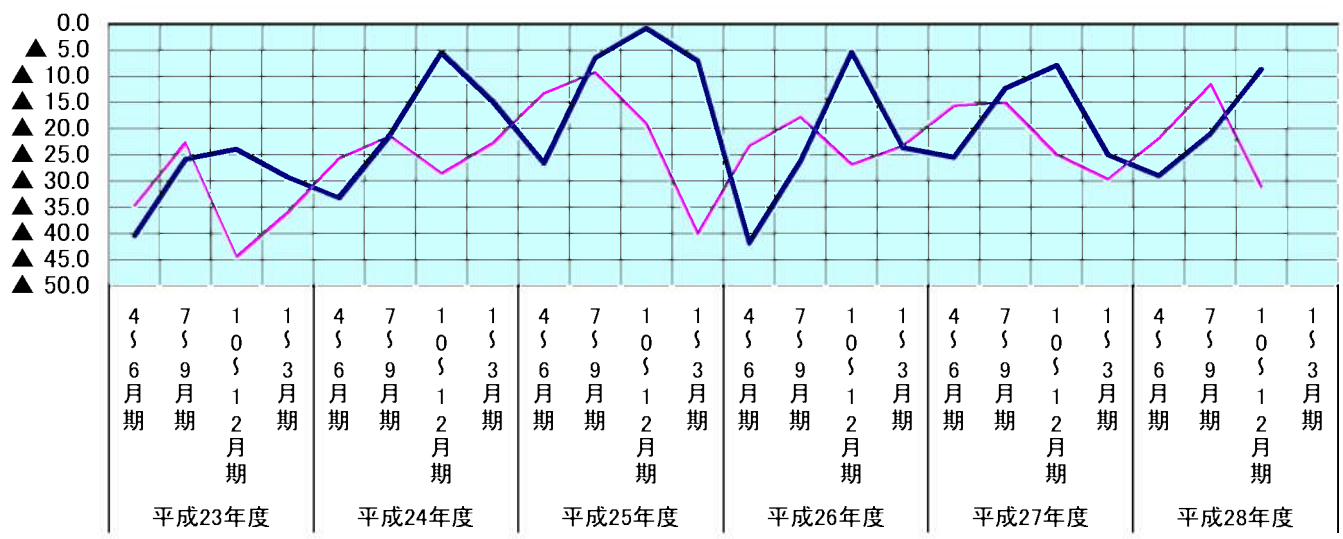
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 8.7	▲ 36.2
小売業	▲ 22.9	▲ 37.7
卸売業	▲ 10.7	▲ 50.0
製造業	0.0	▲ 34.4
建設業	0.0	▲ 30.8
運輸・交通	0.0	▲ 11.8
サービス業	▲ 3.2	▲ 45.2

(好転割合－悪化割合)

全業種

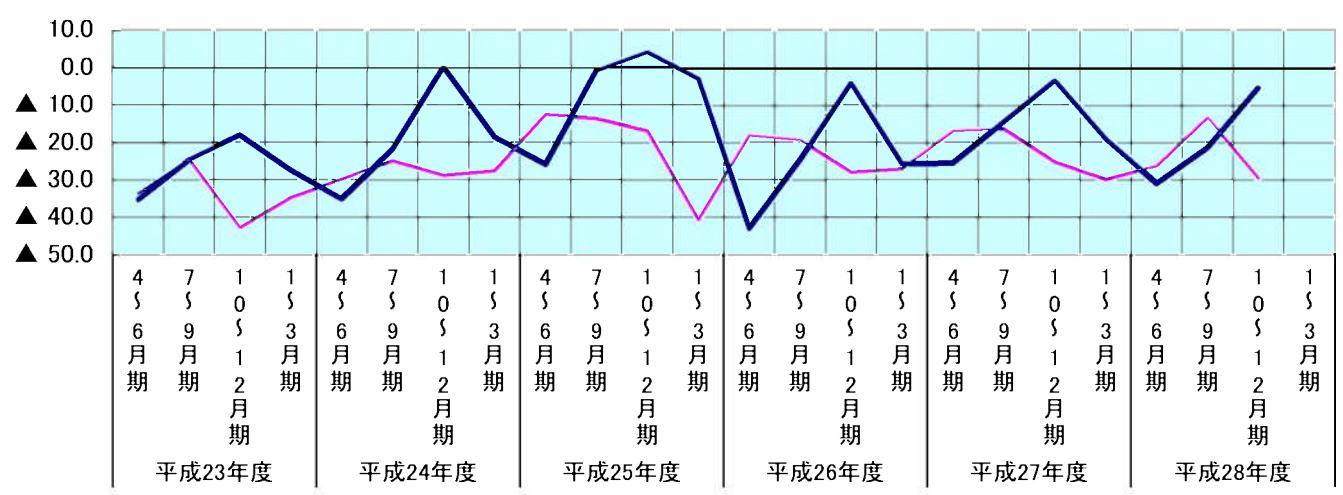
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



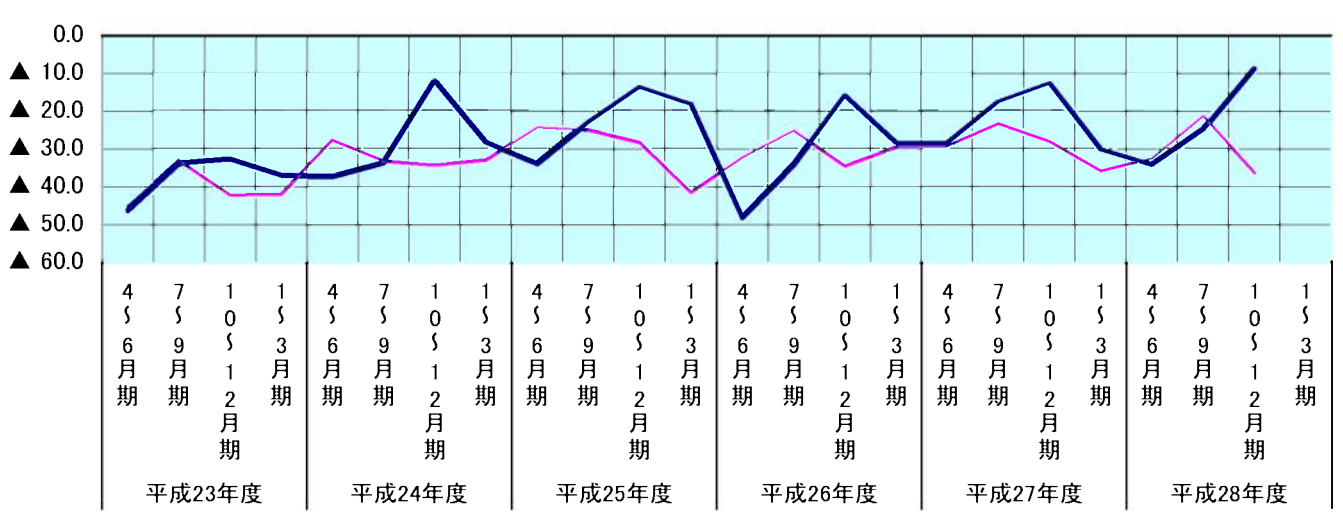
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し







































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い